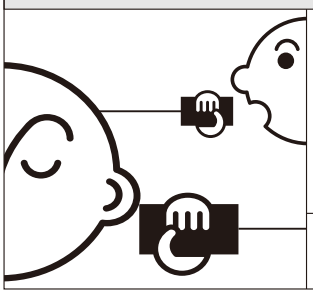
ひとりぼっちで悩まずに― (019)654-7575　第 112 号



社会福祉法人
http://www.iwate21.net/mit/
盛岡いのちの電話

2017年7月10日発行
発行人●金澤　弘幸
●事務局　〒020-8691●
盛岡中央郵便局私書箱69号
TEL 019-652-4162
FAX 019-626-5678

この広報は、岩手県福祉基金の助成により発行しています。

あなたも電話ボランティア しませんか！！

A 「いのちの電話」とは

「いのちの電話」は、自殺予防を主な目的とした相談電話です。人生のさまざまな悩みやこころの危機に直面しながら、身近に相談できる相手もなく孤独や不安に苦しむ人々の良き聴き手となり、心の支えになろうとするボランティア活動です。

B どんな活動ですか

特定の思想・信条・宗教に偏らず、悩んでいる人々・孤独な人々の良き隣人として、共に生きる輪を広げようとする市民による活動です。１９５３年ロンドンで始められ、現在世界７０か国、数百の都市に普及し、わが国でも１９７１年に東京に開設され、現在では５２の都市で活動しています。盛岡いのちの電話は、全国３４番目のセンターとして、１９９１年1月２８日に受信を開始しました。

ー復興商店街ー

おおふなと「夢商店街」は、今春、仮設から本設へ、三陸大船渡の海の恵み（わかめ、うに、あわび・・・）復活

C ボランティアになるには

応募資格は原則23歳以上で男女・学歴・職業は問いません。所定の講座の研修を経て電話ボランティアとしての認定を受けます。盛岡いのちの電話では昨年23名が公開講座の全科目を受講、うち10名が次のステップに進んでいますが、まだボランティアの絶対数が不足しています。あなたも参加してみませんか。詳しくは次ページを参照してください。

ボランティアの声

「つながる」

M・T

「いろいろ聴いて下さって有り難うございました」。電話の向こうからこのような声が聞こえると、こちらの心も明るくなる。

研修期間中、盛岡いのちの電話にかかってくるのは悩みの相談だけではなかった。さみしがり屋の人、なかなか眠れない人、自分を自慢したい人。こちらが落ち込みそうになる電話も中にはあった。

しかし、苦しむ人たちの言葉は切実だ。丁寧に耳を傾ける。いつしか、心と心がつながったと思えるようなときがある。掛け手の「有り難う」の一言にホット息をつくことができた。電話ボランティアに認定された今、受話器を握る時間をさらに大切にしていきたい。

孤独や不安に苦しむ人々の良き聴き手を募集しています

第29期相談ボランティア養成講座へのお誘い

盛岡いのちの電話は1991年1月に開局し電話ボランティアによって相談を受けています。開局当時は年間受信件数が891件でしたが2006年からは1万件を超す受信となり、開局以来多くの方々に寄り添ってまいりました。このいのちの電話を支える電話ボランティアを養成する公開講座の参加者を募集しています。

《第29回公開講座》

時間　13時30分～15時30分

	講義内容	講　　師	会場・時間
1	いのちの電話とは ―歴史と理念―	金澤　弘幸　氏 盛岡いのちの電話理事長	9／2(土) 岩手県民会館会議室(2)
2	思春期・青年期の心理 ―現代の若者のこころ―	早坂　浩志　氏 岩手大学准教授	9／9(土) 岩手県民会館会議室(2)
3	自殺予防活動の現状と電話相談 ―自殺予防の取組みから―	智田　文徳　氏 未来の風せいわ病院理事長	9／16(土) 岩手県民会館会議室(2)
4	現代社会の家族と 社会的つながり	大竹　美貴子　氏 臨床心理士	9／30(土) カトリック四ツ家教会
5	中年期・高年期の生活と課題 ―現代社会と中高年のくらし―	田中　　尚　氏 岩手県立大学教授	10／7(土) カトリック四ツ家教会
6	こころの病　1 ―病気に関する知識―	森　　荘祐　氏 三田記念病院名誉院長	10／14(土) 岩手県民会館会議室(1)
7	こころの病　2 ―病を抱える方への理解―	三條　克巳　氏 岩手医科大学助教	10／28(土) 岩手県民会館会議室(2)
8	カウンセリングについて ―基礎理論　1―	織田　信男　氏 岩手大学教授	11／4(土) 岩手県民会館会議室(2)
9	カウンセリングについて ―基礎理論　2―	山口　　浩　氏 岩手大学教授	11／18(土) 岩手県民会館会議室(2)
10	現代社会とこころの危機 ―ストレスの表れ―	青木　慎一郎　氏 岩手県立大学特任教授	11／25(土) 岩手県民会館会議室(2)

（講師と講義内容が変更される事もあります）　　会場（　）内の数字は会議室番号

＊　会場は岩手県民会館会議室又はカトリック四ツ家教会となります。
　　時間は、13時30分～15時30分です。（駐車場は各自でお探し下さい）
＊　この講座は、公開講座ですから1講座毎にどなたでも参加できます。
＊　受講料10,000円（一部受講者の場合1講座1,200円）

自殺予防公開講座 （厚生労働省補助事業） 演題（仮題） 「人はいつだって変われる」	講演講師 やきつべの径診療所 精神科医 夏苅　郁子　氏	日時　12／3(日) 13:30～15:30 会場　ホテルニューカリーナ 無料　(200名まで)

公開講座の様子

電話ボランティア養成の流れ

❶　電話ボランティア養成　第１課程

電話ボランティアを希望する人は、最初に第１課程として公開講座を受講することになります。公開講座は、毎年9月から行なわれており、電話ボランティアを希望する人にとって、必要な基礎知識全般について学びます。（どうしても都合がつかない時は2回程度までCD受講も可）

今年の内容は左記のとおりです。受講料10,000円

今回、全講座受講できなかった場合、次年度に受講し第1課程を修了することもできます。

❷　電話ボランティア養成　第２課程

第1課程が修了した段階で、第2課程へ進むことを希望する人は、小論文「私のおいたち」の提出と面接等により、電話ボランティアとしての適性を確認され、第2課程に進むことになります。第2課程の内容は、人間関係基礎訓練として自己理解、他者理解を深めるため、小グループによる体験学習が行なわれます。

受講料 10,000 円（全 6 回）

❸　電話ボランティア養成　第３課程

人間関係基礎訓練としてロールプレイにより、模擬的な電話のかけ手や受け手の役割を演じながら、相手のことばにより自分の心がどのように変化するのか等を学びます。　受講料5,000円（全6回）

❹　電話ボランティア養成　第４課程

第４課程は現場実習となります。

現場実習は、４週に２回、各３時間で10ヶ月間行ないます。併せてこの間、電話実習に伴う研修を月１回の割合で受けることになります。　受講料無料

❺　電話ボランティアの認定

第１課程から第４課程までの研修及び電話実習を総合的に判断し、電話ボランティアとして認定されます。これまでおよそ２年間を要します。

申 込 方 法

所定の公開講座申込書にご記入の上、郵送して頂くか、ＦＡＸ送信して下さい。お電話での申し込みも受け付けております。住所・ＦＡＸ番号・電話番号は1ページの上段をご覧下さい。受講料は、公開講座第1回目の時に受付で集金させていただきます。

社会福祉法人　盛岡いのちの電話２０１６年度事業報告・決算報告

日頃ご支援いただいている皆様に感謝申し上げ2016年度の事業と決算を報告いたします。

1　センターの運営

⑴電話相談

・盛岡いのちの電話 毎日12時～21時(日曜日は18時まで)

・フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」毎月10日8時～翌日8時（盛岡センター9時～21時）

・電話ボランティア実働数　71名

・受信対話件数　13,331件(男8,636件、女4,695件)

内自殺傾向件数　1,445件(男931件、女514件)

⑵インターネット相談

ネット相談実働数　12名

受信件数　　110件(男34件、女76件)

内自殺傾向件数　60件(男11件、女49件)

2　会務の運営

⑴諸会議の開催

理事会10回、理事懇談会1回、評議委員会2回、評議員選任・解任委員会1回、監査1回、出納調査4回、研修担当者会議2回、認定会議1回、カード委員会12回、広報委員会4回

⑵電話ボランティア認定式

2017年1月29日(日)　認定者10名

1000時間受信顕彰　1名

⑶事業要覧の発行　7月1日　　1500部

3　研修、事業、広報等

⑴電話ボランティアの募集及び養成

ア　電話ボランティア養成（第1課程）第28回公開講座の開催

9月3日（土）～12月3日（土）（1日1講座全10回）

全科目受講者23名

イ　電話ボランティア養成講座

・第27期生　人間関係基礎訓練Ⅰ（第2課程）及びⅡ（第3課程）電話実習（第4課程）

ウ　認定者の研修　　全体1日研修

⑵自殺予防いのちの電話への参加

ア　フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」の受信（毎月10日9時～21時）

受信件数　384件（男182件、女202件）

内自殺傾向件数　128件（男56件、女72件）

4　後援会活動との連携

⑴チャリティー事業

チャリティーバザー

11月6日（日）　盛岡市総合福祉センター

1月29日（日）　カトリック四ツ家教会

チャリティーコンサート

12月24日（土）岩手県民会館大ホール

⑵啓発事業

2月15日（月）奥州市衣川区保健センター

講師　智田文徳理事

演題　「自殺予防活動の現状と電話相談」

⑶後援会交流会　3月6日

ホテルメトロポリタン盛岡ニューウィング

資金収支計算書

（自）2016年4月1日（至）2017年3月31日　（単位：円）

勘定科目			予算	決算	差額	備考
事業活動による収支	収入	経常寄附金収入	8,000,000	7,799,291	200,709	
		事業収入	3,046,000	2,697,622	348,378	
		事業収入	3,046,000	2,697,622	348,378	
		補助金収入	1,011,000	1,011,000	0	
		助成金収入	1,000,000	1,000,000	0	
		受託事業収入	335,000	328,622	6,378	
		その他の事業収入	700,000	358,000	342,000	
		受取利息配当金収入	210,000	218,554	△ 8,554	
		その他の事業収入	520,000	94,000	426,000	
		受入研修費収入	500,000	94,000	406,000	
		雑収入	20,000	0	20,000	
		事業活動収入計 (1)	11,776,000	10,809,467	966,533	
	支出	人件費支出	5,348,000	4,917,260	430,740	
		事業費支出	6,569,000	5,374,081	1,194,919	
		事務費支出	1,075,000	678,102	396,898	
		事業活動支出計 (2)	12,992,000	10,969,443	2,022,557	
	事業活動資金収支差額 (3) ＝ (1) － (2)		△ 1,216,000	△ 159,976	△ 1,056,024	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	0	0	0	
		固定資産売却収入	0	0	0	
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出	設備資金借入金元金償還支出	0	0	0	
		固定資産取得支出	0	0	0	
		施設整備等支出計 (5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額 (6) ＝ (4) － (5)		0	0	0	
その他の活動による収支	収入	積立預金取崩収入	0	0	0	
		その他の収入	0	0	0	
		その他の活動収入計 (7)	0	0	0	
	支出	積立預金積立支出	0	0	0	
		その他の支出	0	0	0	
		その他の活動支出計 (8)	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額 (9) ＝ (7) － (8)		0	0	0	
予備費支出 (10)			100,000		100,000	
当期資金収支差額合計 (11) ＝ (3) ＋ (6) ＋ (9) － (10)			△ 1,316,000	△ 159,976	△ 1,156,024	

前期末支払資金残高 (12)	4,286,688	4,286,688	0	
当期末支払資金残高 (11) ＋ (12)	2,970,688	4,126,712	△ 1,156,024	

貸借対照表

2017年3月31日現在　（単位：円）

資産の部	当年度末	前年度末	増減	負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	4,148,362	4,301,388	△ 153,026	流動負債	21,650	14,700	6,950
現金預金	4,148,362	4,301,388	△ 153,026	預り金	21,650	14,700	6,950
未収金	0	0	0				
固定資産	30,013,634	30,490,917	△ 477,283	固定負債	0	0	0
基本財産	13,000,000	13,000,000	0				
基本財産特定預金	13,000,000	13,000,000	0				
その他の固定資産	17,013,634	17,490,917	△ 477,283	負債の部合計	21,650	14,700	6,950
器具及び備品	1,013,634	1,490,917	△ 477,283	純資産の部			
基本財産積立預金	4,000,000	4,000,000	0	基本金	13,000,000	13,000,000	0
設備拡張積立預金	500,000	500,000	0	基本金	13,000,000	13,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	362,736	461,664	△ 98,928
財務調整積立預金	11,500,000	11,500,000	0	その他の積立金	16,000,000	16,000,000	0
				基本財産積立金	4,000,000	4,000,000	0
				設備拡充積立金	500,000	500,000	0
				財務調整積立金	11,500,000	11,500,000	0
				次期繰越活動増減差額	4,777,610	5,315,941	△ 538,331
				次期繰越活動増減差額	4,777,610	5,315,941	△ 538,331
				（うち当期活動増減差額）	△ 538,331	△ 632,548	94,217
				純資産の部合計	34,140,346	34,777,605	△ 637,259
資産の部合計	34,161,996	34,792,305	△ 630,309	負債及び純資産の部合計	34,161,996	34,792,305	△ 630,309

財　産　目　録

2017年3月31日現在　　（単位：円）

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ　資産の部						
1　流動資産						
現金預金						4,148,362
普通預金	岩手銀行本店営業部他		運転資金として			4,148,362
	小計					4,148,362
流動資産合計						4,148,362
2　固定資産						
（1）基本財産						
定期預金	岩手銀行本店営業部他		基本財産として			13,000,000
基本財産合計						13,000,000
（2）その他の固定資産						
器具及び備品	電話機器等		相談事業用として			1,013,634
基本財産以外の財産	定期預金　岩手銀行本店営業部他					16,000,000
その他の固定資産合計						17,013,634
固定資産合計						30,013,634
資産合計						34,161,996
Ⅱ　負債の部						
1　流動負債						
預り金	源泉所得税他					21,650
流動負債合計						21,650
2　固定負債						
固定負債合計						0
負債合計						21,650
差引純資産						34,140,346

社会福祉法人盛岡いのちの電話役員

社会福祉法人盛岡いのちの電話定款変更（２０１７年４月１日付）により、６月２０日に行われた評議員会で役員が選任され、その後の理事会で金澤弘幸が理事長に選任されました。新たに評議員選任・解任委員会を置き４名で構成することとなりました。

理事・監事（任期 2017.6.20 ～ 2019 年度の最初の定時評議員会まで）

理事長	金澤　弘幸	元会社社長
理　事	岩浅　武雄	元岩手銀行㈱
〃	右京　昌久	岩手県社会福祉協議会事務局次長 兼地域福祉企画部長
〃	川下　洋美	産業カウンセラー
〃	工藤　洋子	社会福祉活動経験者
業務執行理事	佐々木節子	盛岡いのちの電話事務局長
理　事	達下　雅一	盛岡いのちの電話後援会事務局長
〃	田中　尚	岩手県立大学教授
〃	智田　文徳	岩手医科大学非常勤講師
〃	中原　眞澄	日本キリスト教団内丸教会牧師
〃	古川　徳浩	都南病院精神保健福祉士
〃	山口　浩	岩手大学教授
〃	電話ボランティアの会会長	
監　事	下川原弘志	団体役員
〃	丹代　一志	昆司会計事務所税理士

評　議　員（任期 2017.4.1 ～ 2021 年度の最初の定時評議員会まで）

秋山　顯一	盛岡ユネスコ協会理事	長岡美代子	元看護師
阿部　孝司	社会福祉法人カナンの園ヒソプ工房所長	日野岳唯照	専立寺役僧
阿部　東龍	東楽寺住職	深澤多紀子	社会福祉活動経験者
石川　修子	社会福祉活動経験者	藤澤　克典	藤澤司法書士事務所司法書士
伊藤　正次	奥州市ボランティア連絡協議会会長	松浦　裕介	日本キリスト教団下ノ橋教会牧師
岩根多喜男	社会福祉法人いきいき牧場理事長	松本　利巧	岩手日報社総務局長
河邊　邦博	IBC アナウンス学院学院長	三木　典子	社会福祉活動経験者
菅野　耕毅	岩手医科大学名誉教授	武蔵　文武	盛岡市ボランティア連絡協議会副会長
工藤　隆一	株式会社わしの尾役員	森　　荘祐	三田記念病院名誉院長
國分　牧子	国際ゾンタ盛岡ゾンタクラブ	守谷　祐志	盛岡市議会議員
斎藤　恵子	西松園内科医院長	渡邊瑠美子	社会福祉活動経験者
佐藤　光	カトリック四ツ家教会委員長		

評議員選任・解任委員

青木慎一郎	岩手県立大学特任教授
土屋　文彦	土屋心理支援オフィス代表理事
下川原弘志	社会福祉法人盛岡いのちの電話監事
村井　直子	社会福祉法人盛岡いのちの電話事務局員

相談電話

◆盛岡いのちの電話　☎019-654-7575／12時～21時（日曜日12時～18時）

◆自殺予防いのちの電話　☎0120-783-556／毎月10日 8時～翌朝8時

◆インターネット相談／　https://www.inochinodenwa-net.jp/

※尚、紙面の都合から、寄付者のご芳名紹介は次号とします。